「三徳の家庭菜園」 ㉕

【ニラ】～２～３年収穫したニラ株は冬季に株分け更新を～

餃子や卵とじ、雑炊に欠かせないニラは多年生で、一度植えておけば年に数回は収穫できる家庭菜園向きの大変重宝な野菜です。しかし、収穫を２～３年続けると、分けつによって根株が密生状態になって、幅広で厚みのある良質のニラ葉を収穫することができなくなります。その対策としては、収穫開始から２～３年後に株分け更新をすることです。

株分けの時期は、葉が枯れてニラ株が休眠状態に入っている冬＝今の時期（２月頃）が最適です。株分けの仕方は、まず地上に残っている枯れ葉を地際から４～５㎝の高さで切除した後に、ニラの根株をスコップ等で大きめに掘り起こします。

掘り上げた後に土を落とした根株を、２～３の芽がついた根茎に手で小さく分割します。その根茎３本ほどを新たに作った畝に、深さ８～10㎝、株間が20～25㎝で植え付けます。その際、畝には前もって深さ１０cmほどの溝を掘って、その中に基肥として堆肥や油かす、緩効性の化成肥料を施しておきましょう。その量は、溝の長さ１ｍ当たり堆肥が約500g、油粕は30g、化成肥料は35gが目安です。

畝溝に植えた根株には上部がやや出るぐらいに覆土を行い、春からの新葉の伸張を待ちます。そうすると、春には見違えるほど勢いのよい、良質のニラ葉を収穫することができます。ニラ独特の臭いの素である硫化アリルは、胃腸の粘膜を刺激してエネルギー代謝を活発にする作用があると言われています。今年もニラを食べて元気に過ごしましょう。

福岡県農業大学校　非常勤講師　林　三徳

掘り上げたニラの株

小さく分割した根茎３本ほどを１カ所に、深さ８～10㎝に植える

矢部川源流・杣の里の四季 ㊵

シロバナネコノメソウ(白花猫の目草)[ユキノシタ科]

矢部村ではまだ寒い早春３月、谷沿いを登る釈迦岳登山道の湿った場所に群生して咲いているのを見ることが出来る。白く花弁のように見えるのは萼片、少し開きかけたところが猫の目のように見えてかわいい花である。　（黒木町）　松尾　重根

知って得する郷土の食文化 ⑧

餅は縄文時代の後期に稲作とともに東南アジアから伝わったと考えられています。餅が季節行事ごとに供えられ、食されるようになったのは鏡餅が誕生した平安時代からのことです。古くから正月や節句、季節の行事や祝い事のようなめでたい日に食べるものとして現在まで伝えられてきました。

＊餅ピザ

■材料　餅6~7個　トマト１個　玉葱半分 ベーコン３枚　ピザ用チーズ適量　ピザソース適量　オリーブオイル大さじ１

■作り方　①餅を薄く半分に切りオリーブオイルをひいたフライパンに並べ、弱火で焼く。②具材を切り、トマト・玉葱はうすくスライスする。③餅を返し、ピザソースを塗り、切った玉葱・トマト・ベーコンをのせ、上からチーズをのせ8~10分焼いて出来上がり。

＊だんだら粥

■材料　ご飯適宜　餅　出汁　ネギか三つ葉

■作り方　①出汁を取り、ご飯とサイコロに切った餅を入れ中火で煮る。②煮えてきたらうすくち醤油と味醂で味を付け、器に入れ三つ葉かネギをのせる。

＊きな粉餅

■材料　餅適量　きな粉適量　粉黒砂糖と白砂糖を半々に混ぜたもの　塩少々

■作り方　餅を焼き、熱湯につけた餅をきな粉で和える。

郷土料理研究家　樋口　愛子(八女市)

◘「久留米絣文様館」発刊

八女地方には他地方の工人さんが追随出来ない技術品が多いが、その一つに久留米絣の小柄文様作品があります。小柄の絣こそ八女地方の独特の文化といえます。小柄の絣はぎれ12枚をはった小冊子を八女伝統工芸館（22-3131）で販売中です。一冊四百円。著者は民芸研究家の松田久彦さん。

◘古代日本と百済の交流

百済の技術者によって水城・大野城・基肄城が築かれて1350年。本展覧会では激動の東アジア世界を物語る出土品とともに、百済王ゆかりの品々や仏教美術を通じて「古代日本と百済の交流」の歴史をひもときます。

日時　～3月1日(日)　毎週月曜日休館

観覧料　一般1400円　高大生1000円　小中生600円

◘徳永二男ヴァイオリン リサイタル

日本のヴァイオリン界を牽引する徳永二男がゆかりの地「八女」で届ける極上の響き。

出演　ヴァイオリン　徳永二男、ピアノ　林絵里

日時　3月8日(日)　15時開演

会場　おりなす八女

入場料　2500円　会員2000円　学生1000円

主催　おりなす八女文化事業振興会・八女市

◘市民劇

「いわい」第4回公演

―筑紫の君磐井と百済の武寧王―

日時　2月28日(土)　13時30分

開演

会場　おりなす八女

主催　ミュージカル劇団さくら座

■読者プレゼント

古代日本と百済の交流はペア1組、徳永二男リサイタルはペア3組の方へ。希望の方は住所、氏名、イベント名明記の上（株）東兄弟へハガキで応募下さい。2月6日締め切り、希望者多数の時は抽選によります。

※大塚整骨院、大塚史彦院長の「健康のツボ」は今月はお休みします。

川柳

にらの花真直ぐ
強く凛と咲き
何事も許して許して
夫婦です
病して人の心の
彩を知り

隆子

２月の道の駅たちばな

道の駅 たちばな　立花町下辺春国道3号線沿　TEL 0943-37-1711